

なのはな米1等比率95%以上を継続!

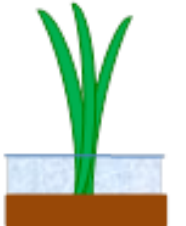
高品質な“なのはな米”に向け、充実した稲体づくりのため、**浅水管理**や**溝掘り・中干し**をしっかりと行いましょう。

中干しまでの水管理

中干しまでは水深3cm程度の**浅水管理**を行い、分けつの発生を促しましょう。

<浅水管理のポイント>

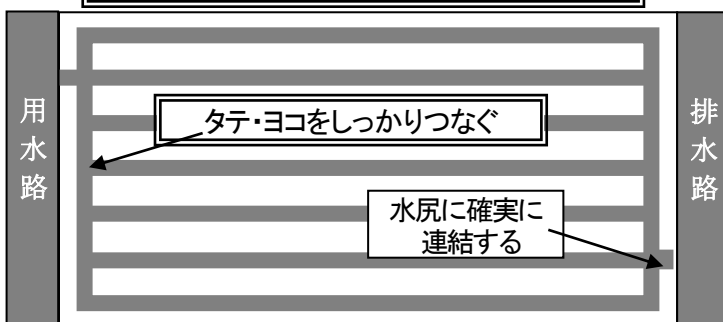
- ・入水は朝か夕方に行い、日中は止水で田水温の上昇に努めましょう。
- ・強風や低温時には5cm程度の深水にし、天気回復後は速やかに浅水管理に戻しましょう。
- ・藻が発生している場合は、水の入れ換えを行いましょう。また、田がわいている場合は、1~2日程度の軽い田干しを行いましょう。



溝掘り

中干しや、その後の間断かん水を効果的に行うため、6月上旬までに必ず溝掘りを行いましょう。

10~15条に1本の割合で設置



溝掘りをしないと、ほ場内で場所により排水が遅れ、適期収穫に支障をきたす恐れがあります。



溝掘りをしなかったほ場の収穫時の水たまり

<溝掘りのポイント>

- ・形が崩れないよう軽く田干しを行い、泥を固めた後、10~15条に1本の割合で溝を掘る。
- ・タテ溝とヨコ溝をしっかりつなぎ、水尻は確実に連結する。

中干し

6月に入ると分けつが急激に増加します。遅れずに**中干し**を実施し、無効分けつを抑えましょう。

出穂後20日間の湛水管理に備え、コンバイン作業の地耐力確保のため、この時期に確実に田面を固めましょう。

◎中干しの目安

適切に中干しを実施すると…

- ・葉が直立
- ・茎が太い
- ・根量が多い



	普通乾田	水はけの悪いほ場、粘土質田、大豆跡田
中干しの開始時期	田植後1か月までに 中干し を開始	
中干しの期間	3~5日間程度	5~7日間程度
中干しの仕上げ程度	長靴が沈まない程度 田面に 小さな亀裂 ができるまで 	強めの中干し 田面に 大きな亀裂 ができるまで

◎5月15日田植えの作業の目安

6月5日頃	12日頃
(田植後3週間頃) (軽い田干し開始後1週間頃)	
軽い田干し開始	
浅水管理	溝掘り → 中干し開始

中干し終了時の目安

ほ場中央部で、くるぶしまで沈む程度



干し過ぎると、稲の生育にダメージを与えます。数回に分けて適度に田干しを行いましょう!

裏面へ続く

中干し後の水管理

- 中干し後から幼穂形成期頃までは湛水と落水を繰り返す**間断かん水**を行い、土中のうわ根をしっかりと伸ばしましょう。
- 生育量が多い場合は過剰籾数や倒伏を防ぐため、**強めの田干し**（落水期間を長く）しましょう。
- 幼穂形成期頃までに**足跡の深さ3cm程度の硬さ**に誘導しましょう。

珪酸質資材の施用

茎葉を丈夫にし、登熟を高めるため、珪酸質資材を施用しましょう。
特に肥効調節型基肥は加里成分が不足するので、この追肥で補給して下さい。

施肥体系（使用基肥肥料）		肥料名	10a 当たり施用量	施用時期
分施	（なのはな有機基肥）	エスアイ加里らくだ	1.5 kg	6月中旬～下旬
	（基肥555）	太陽のめぐみ	20～40 kg	
肥効調節型基肥	（なのはな一発基肥など）	エスアイ加里らくだ	1.5 kg	
		BBPKケイ酸	20～40 kg	

後期除草剤の散布

- 雑草が残った場合は、雑草の葉齢を確認し、遅れずに散布しましょう。
- 除草剤の効果を高めるため、散布前に軽い田干しを行い、水の入れ替えを行ってから散布しましょう。
- 除草剤散布の際には、周辺の作物に飛散しないよう注意しましょう。

◎除草剤使用基準（移植水稻の場合）

雑草の状況	除草剤名	10a 当たり散布量	散布時期	使用回数	使用上の注意
ノビエ が残った場合	クリンチャー 1キロ粒剤	1 kg	田植後7日～ ノビエ4葉期 まで (収穫30日前まで)	2回 以内	<ul style="list-style-type: none"> ・散布の際は5cm程度の深水とし、5日間は湛水状態を保つ ・7日間は落水・かけ流しをしない
		1.5 kg	田植後25日～ ノビエ5葉期 まで (収穫30日前まで)		
	ヒエクリーン 豆つぶ250	250g	田植後15日～ ノビエ3.5葉期 まで (収穫45日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・散布の際は5cm以上の深水とし、水田周縁部に沿い散布する ・散布後、5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水・かけ流しをしない
広葉雑草 が残った場合	バサグラン粒剤	3～4kg	田植後15～50日 (収穫60日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草が露出する程度の浅水とし、晴天日を選んで散布する ・散布後3～4日間は田に水を入れず、また降雨によって薬剤が流出しないよう水尻は必ず止めておく ・スポット散布も可
ノビエと広葉雑草 が残った場合	ワイドアタックD 1キロ粒剤	1 kg	田植後20日～ ノビエ5葉期 まで (稲4葉期以降、 収穫60日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させない ・完全に枯死するまでに3週間以上を要することがある
	クリンチャー バスME液剤	1,000ml 希釈水量 70～100L	田植後15日～ ノビエ5葉期 まで (収穫50日前まで)	2回 以内	<ul style="list-style-type: none"> ・落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するよう丁寧に散布する ・散布後3～4日は入水・落水をしない

★なのはな農協では、皆様に電子メールによる営農情報の提供を行っています★

<情報提供内容>

- ・栽培管理情報
- ・緊急的な気象情報や災害防止対策、栽培管理等の情報
- ・その他必要と思われる情報

★営農情報提供サービスへの登録はこちらから
(QRコードにスマホ等をかざして必要な情報を登録してください)

